

令和5年第2回宝塚市教育委員会の会議（定例会）会議録

- 1 開催日 令和5年2月2日（木）
- 2 場 所 宝塚市役所 教育長応接室
- 3 開会時間 午後2時00分
- 4 閉会時間 午後3時00分
- 5 出席した委員の氏名
五十嵐 孝教育長、木野 達夫委員、篠部 信一郎委員、松浦 一枝委員及び
石井 克馬委員
- 6 除斥した委員の氏名
- 7 委員及び傍聴人を除く、議場に出席した者

学校教育部長	坂本 三好	教育企画課長	岡本 進
社会教育部長	番庄 伸雄	職員課長	奥田 利富美
管理室長	福井 健介	施設課長	豊田 善弘
学校教育室長	伴 康史	学校給食課長	三浦 庸平
学校教育次長	美除 浩	教育支援課長	稲中 伸彦
		社会教育課長	水野 寧
		学校教育課副課長	片上 健太郎
		特別支援教育担当副課長	高橋 範充
		教育企画課係長	板垣 慎一郎
		学事課係長	矢野 圭一郎
		教育支援課係長	島谷 恵子
- 8 会議の書記
教育企画課事務職員 藤原 明穂
- 9 議題
○議案第1号 令和5年度教育委員会所管一般会計予算（案）の提出について意見を申し
出ることについて

会議の概要

開会 午後 2時00分

五十嵐教育長 令和5年第2回宝塚市教育委員会の会議（定例会）を開催いたします。傍聴希望の方はいらっしゃいますか。

岡本課長 おられません。

五十嵐教育長 それでは、本日の署名委員は木野委員です。よろしくお願いいたします。

本日の付議案件は、議決事項1件です。

それでは、進行について、事務局からお願いいたします。

岡本課長 本日の付議案件は、議決事項1件です。

議案第1号 令和5年度教育委員会所管一般会計予算(案)の提出について意見を申し出ることについてです。

よろしく御審議のほどお願いいたします。

五十嵐教育長 それでは、議案第1号 令和5年度教育委員会所管一般会計予算(案)の提出について意見を申し出ることについて、担当課より一括して説明をお願いいたします。

岡本課長 議案第1号 令和5年度教育委員会所管一般会計予算(案)の提出について意見を申し出ることについて内容を御説明申し上げます。

本件は、令和5年度一般会計予算のうち、教育委員会関係予算に関しまして、令和5年3月定例市議会に議案を提出するにあたり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、市長に次の予算案をもって意見を申し出るものです。

令和5年度教育委員会所管一般会計予算(案)についてですが、歳入額は29億7113万1千円、歳出額は68億3421万9千円といたします。このほか、債務負担行為(案)として、西山小学校屋内運動場改築工事基本設計委託料等を設定いたします。

お配りしている予算関係資料の1ページを御覧ください。令和5年度一般会計歳出予算における款10教育費の予算額は、101億3110万2千円で、前年度に比べて4億6441万8千円、約4.8%増加し、一般会計予算に占める教育費予算の割合は、前年度とほぼ同じ11.5%となっていま

す。市全体の歳出予算が前年から約50億円増加したこともあり、教育費としては過去最大規模となっています。なお、この度意見を申し出る教育委員会所管の予算につきましては、下の表にありますように、款10教育費の総額101億3110万2千円から子ども未来部で所管する私立幼稚園利用給付費、私立幼稚園助成事業補助金と給与労務課で所管する人件費等を合わせた、約33億5千万円を除き、教育費以外で計上している5500万円を加えた68億3421万9千円となります。

続きまして、令和5年度に新規または拡充事業として実施するものを中心に簡単に御説明を申し上げます。

まず、施設改修などの教育環境の整備につきましては、事業概要3ページ、4ページのNo.7小学校施設整備事業、No.8の小学校施設整備事業建物保全、No.9中学校施設整備事業、No.10中学校施設整備事業建物保全の中で計上しています。なお、校舎等改修工事につきましては、老朽改修や空調設備改修などのほか、長尾台小学校における法面整備工事の実施を予定しています。これらの工事につきましては、令和4年度中に予算措置したものを繰り越して執行するものがあるほか、学校の施設修繕については、国交付金が採択されるタイミングが不明瞭であったため、令和4年度と5年度において二重で計上しているものがございます。次に8ページを御覧ください。No.33図書活動推進事業において、学校図書館の図書購入費を小中学校合わせて、1500万円計上しています。令和5年度はふるさと納税を活用し、令和4年度から530万円の増額となっています。次に、No.34地域学校連携協働推進事業において、コミュニティスクールを推進するための委員報酬や活動費として約400万円を計上しています。次に9ページを御覧ください。No.39部活動推進事業において、部活動の地域移行に向けた取組を進めるため、約110万円を計上しています。次に10ページのNo.50幼稚園運営事業ですが、医療的ケア児の受入れの可否を検討する検討会の設置に係る費用を新たに計上しています。次に11ページ、No.56スクールネット活用事業において、GIGA用タブレットの更新にかかる費用を計上しています。最後に13ページのNo.72ですけれども、宝塚自然の家管理運営事業において、アスレ

チックの増設にかかる経費や管理棟の多目的トイレを誰でも利用しやすいよう、トイレ周辺にアスファルト舗装を施す経費を計上しています。今回の当初予算では、学校園における新型コロナウイルス対策に関する費用は表だった計上はしていませんが、令和4年度からの繰越予算として、2ページを御覧ください。No.2の小学校運営事業と記載している下に米印で記載をしておりますけれども、令和4年度からの繰越予算として感染症対策事業費の予算措置を行っていく予定で、こちらは今のところ、3月補正予算として要求する予定になっておりますので、まだ現時点では確定ではありませんけれども、こういう予算を措置しようと動いているところです。また、そのほか各事業においても国補助金の活用や事業費の精査により予算確保を行っていきます。令和5年度当初予算に係る概要の説明は以上ですけれども、最後に補足がございます。先ほど御説明しました、令和4年度と令和5年度の二重計上の件についてですけれども、つい先日ですね、施設整備の関係ですけれども、国交付金の内定の連絡があったことを受けまして、令和4年度分として前倒しで予算措置されることとなりましたので、当初予算での計上分については6月に減額の補正を行うこととなります。次回の教育委員会の会議の際に、令和4年度分の補正予算については改めてご提案する予定としております。令和5年度当初予算の概要及びそれに関係する今後の流れについては、以上でございます。よろしく御審議いただきますようお願いいたします。

五十嵐教育長 予算の概要について説明がありましたが、続けて、令和5年度の重点取組などについて、各部から説明していただけますか。

坂本部長 まずは、9ページのNo.3 9部活動推進事業です。地域移行の方向性を踏まえて、来年度は2つほどのモデル的な部活動を作って、その支援という形も考えております。最後の保険料については、今の部活動では、保険料は発生していないわけですけれども、地域移行したら学校教育活動以外での活動になるため、現在のスポーツ振興センターの制度では対応できません。そのため、来年度モデル校での検証を行うにあたり、その保険料を市が負担するものです。あとは、外部指導者への謝礼ですとか、それからフレッシュコンサートそれから、楽器購入、使用料とかいうところで予算計上を行っております。

す。

それからもう一つ、No.50 幼稚園運営事業です。今度は医療的ケア児の受入れということもありますので、そういったボランティアですとか、検討会の委嘱、報償費についても予算化をしているところです。

片上副課長

8ページになります、No.34 地域学校連携協働推進事業におけるコミュニティスクール事業ですが、今年度、全小中学校でコミュニティスクールを立ち上げさせていただきまして、その関係上、委員報酬を支払うということで予算計上しております。

坂本部長

以上です。

番庄部長

続いて、社会教育部からの主な取組について紹介していきます。12ページのNo.64以降にあります、10教育費06社会教育費となります。

社会教育推進事業におきましては、前年より下がっておりますが、これにつきましては、社会教育施設との連絡調整等を行っていくというものです。

13ページとなります。No.6620歳のつどいでございますが、これにつきましては、二十歳の節目ということもございまして、制度上は18歳成人となっておりますが、20歳のつどいとして、51万7千円増額して行う予定としております。これは設営や委託料における金額の増額になります。No.67 学校支援地域本部事業でございますが、これは、地域のボランティアを活かした学校を応援していくような取組でございます。粘り強く行っていきたいと考えております。No.69 歴史民族資料館管理運営事業及びNo.70 文化財保護事業でございますが、いずれも増額としております。歴史民俗資料館管理運営事業につきましては、小浜地区の強化、それから文化財保護事業におきましては、旧山田家住宅であるとか高司素盞鳴神社、これは地域の方と市、県がお金を出し合って文化財の保護に動くというものでございますが、これらの文化財保護についても一定の予算を投入しているものでございます。No.72 宝塚自然の家管理運営事業ということで、1200万という高額な金額を計上しておりますが、これは利便性の向上とさらなる定着と普及を目指していきたいという思いから、施設修繕等をできるところから行っていくというものでございます。続きまして、14ページでございます。いずれも減

額となっておりますが、No.75、76は図書館費を計上しております。特にNo.75中央図書館管理運営事業におきましては、図書館の貸出システムの再リースを行うのに必要な経費を計上しております。西図書館につきましては、子どもの読書活動推進計画を着実に実行していくための予算を計上しています。

最後は15ページで、10教育費07保健体育費となります。スポーツセンター関係のものでございます。市や社会体育団体の振興事業ですが、この中で特筆すべきは、No.79ハーフマラソン実施事業について、健康で安心して暮らせる宝塚の魅力を全国に発信したいということで、3年ぶりの再開を目指すということにしております。ただ先ほど申し上げました、全体的に委託料であるとか、事業費が上がっていているというのがございますので、予断を許さない状況でございますが、なんとか市民の皆さんを元気づけたいという思いでハーフマラソンの再開を目指すということで計上させていただいております。No.80スポーツ施設管理運営事業で、これはスポーツセンターの指定管理料ということで、前年度比で9783万1千円と上がっておりますけれども、これもやはり全体的な施設管理であるとか、インフレの影響も受けているという状況もございまして、計上しております。スポーツ施設管理運営事業と一口に言いますが、スポーツセンター、末広体育館、売布北、花屋敷、高司と全てのグラウンドを計上しておりますので、かなり高額な見え方になっておりますけれども、市内のスポーツ施設全体での指定管理料として計上しています。それと、スポーツセンターがかなり傷んでおりますので改修費を計上しておりますが、改修工事費もインフレの影響を受けております。それらも含めて、計上させていただいているという状況です。社会教育部の方からは以上です。

岡本課長

管理部からは、教育企画課と給食課から御報告いたします。まず教育企画課の方ですが、2ページのNo.2各学校園の運営事業を御覧ください。前年度比で1億5千万円ほど金額が増えておるんですけれども、こちらにつきましては、12月市議会で補正予算でも計上させていただいております通り、電気ガスの料金が大幅に増加をしております、前年度比でこの程度増える見

込みということで計上しております。ですので、それ以外の経常的な学校園の運営部分に関しては、前年度比でほぼ同額という形としておりますので、そのようにご理解いただければと思います。以上です。

三浦課長 学校給食課から、給食事業で補足の方の説明させていただきます。教育委員会の協議会でも学校給食費の改定で随時報告はさせていただいていましたが、当初予算の協議の中で、令和5年度については、基金と一般財源、市費での対応となりましたので、保護者にこれまで以上の負担を求めることはなく、通常の給食費で請求するという形で令和5年度は想定しておりますので、報告させていただきます。給食課からは以上です。

五十嵐教育長 各課からの説明は終わりましたので、まずは御質問がありましたら、どうぞ。

コロナや社会の状況の変化で、色んな維持費がかかるので、それで予算が増減したこともあるとは思いますが、最後のNo.80スポーツ施設管理運営事業は、施設の指定管理料が1億2千万で、全体の予算が4億4千万ですので、この1億2千万以外の約3億円は何の予算ですか。

番庄部長 施設改修の工事費をかなり多く要求しております。例えば、グラウンドの土やフェンスの入替えであるとか、あと、主にスポーツセンターですけども、老朽化している施設修繕等も加えてということになります。

五十嵐教育長 額が多いので気になったのですが、何にどれほどかかるかというのは、今回の出てくる資料からでは読み取れないですか。

番庄部長 すぐに資料が出てこないのですが、主に工事費になります。

五十嵐教育長 では、同じく社会教育関係でお聞きしますけれども、中央図書館も西図書館も前年よりかなり額が落ちています。これはどういう理由ですか。

番庄部長 中央図書館については、図書費の減額であるとか、あるいは図書館システムの借上料が再リースということがありまして、大幅に金額が下がりました。なので、決してサービスが落ちたというわけではなく、図書館のリース料が下がったというのが中央図書館の状況です。主に100万円が図書の購入費の減額、残りはシステム借上料が700万ぐらい抑えられたことによるものです。西図書館の管理運営事業も1800万減っているということでござい

ますが、前年に西図書館と西公民館あわせて空調工事を行ったため、工事費の予算を特別計上していましたが、本年度はそれがないので、1800万下がっているという状況になります。サービスの後退はございません。

五十嵐教育長 では、No.71の公民館管理運営事業も同じような理由で金額が下がっているということですか。

番庄部長 そうなります。

五十嵐教育長 続いて、No.66の20歳のつどいですが、この予算は今年度通り、宝塚ホテルで3部制でやる予定の金額ですか。

番庄部長 はい。現時点では今年と同じように3部制で分けてやるという考え方を持っています。来年度以降につきましては、ある程度、アフターコロナということになると思いますので、3部制にしなくてもいいかもしれません。ホテルには、1度に1800人ぐらいが来るんですけども、1度に受け入れるというのは非常に難しいので、2回ぐらいには分けないといけないと思いますが、予算計上の上では今年度と同じようなスキームで、警備にかかる費用についてもそれほど変わるものでありませんので、教育長ご指摘の通り、今年度通りに行うとして、これぐらいの予算にしております。ただ、3部制ではなく、できれば2部制ぐらいにまとめてやりたいという思いはございます。

五十嵐教育長 コロナ前も宝塚ホテルでやっていましたよね。

番庄部長 そうです。

五十嵐教育長 コロナ前の旧宝塚ホテルでやっていた時は、何部制でしたか。

水野課長 1回です。

五十嵐教育長 1回ということは、1000人ぐらいは入ったということですか。

水野課長 そうですね。宴会場の面積は変わらないですが、ホテル全体で受け入れしていました。

五十嵐教育長 だとすれば、新しい宝塚ホテルでも一番大きい宝寿を使って、全員入れなくても、他の部屋に分散するなどして一遍にやることはできないですか。

水野課長 たぶん1回でやることは無理だと思います。実は警察からも止められています。コロナが明けた時を想定して協議したことがあるんですけども、駅前や花のみちには、歌劇のお客さんもいて、かなり人通りが増えることにな

るので、ちょっと1回でやりきるのは難しいです。

五十嵐教育長 分かりました。

松浦委員 前から話が出ていたと思いますが、せっかくだから、宝塚の成人式は大劇場でできないですか。

水野課長 検討します。

松浦委員 20歳のつどい関係でもう一点、旧山田家が近いので、あの庭とか中におめでたいお軸とか掛けてあげて、撮影場所に開放してあげたらどうですか。

番庄部長 ありがとうございます。郷土への愛着と申しますか、ふるさと意識の醸成というのもございますので、前向きに検討します。

松浦委員 文化財に予算を使うことがちょっとでも市民に活用することで、もう少し理解していただけたらいいかなと。

番庄部長 ありがとうございます。

五十嵐教育長 それは、ぜひ検討してください。

番庄部長 はい。

五十嵐教育長 他に御質問ありませんか。石井委員。

石井委員 まずNo.3ですが、前年度比で2億5千万ほどアップ、全体で5億6千万ほどなので半分弱ぐらいアップしている形ですけれども、この理由は。

奥田課長 予算額アップの要因ですけれども、主には、これまで学校教育課の方で所管されていましたが介助員の人件費について、来年度から職員課に所管替えをすることになったのが主な要因です。あとは細々した全体の賃金の改定で少しアップしたというところで、今回予算総額がアップしています。以上です。

石井委員 子どもに還元されるアップではないということですね。

福井室長 もともと学校教育部の方で所管していたものが、職員課所管に替わったということで御理解いただけたらと思います。

石井委員 はい。

五十嵐教育長 介助員だけで2億円以上はありましたよね。

奥田課長 そうですね。

五十嵐教育長 だからその分が丸々、職員課に所管替えしたということは、その分、学校教育部は下がっているということですね。

- 奥田課長 おっしゃるとおりです。
- 石井委員 それはどこで下がっているんですか。
- 美除次長 No.2 7 特別支援教育推進事業です。
- 五十嵐教育長 2億8千万下がっていますね。
- 石井委員 同じページのNo.2 4 給食事業で、令和5年度の値上がりなしは決定ですか。
- 三浦課長 令和5年度中に値上げすることはありません。
- 石井委員 あとNo.3 4も、コミュニティスクール事業としてアップしたという説明だったんですけども、今まではなかったということですか。
- 片上副課長 そうですね。当初は委員報酬を想定していなくて、その分を支払わないといけないということで追加した分になります。
- 五十嵐教育長 全校でコミュニティスクールは立ち上がりましたか。
- 片上副課長 はい。
- 五十嵐教育長 今年度は無報酬でやっていただいたということですか。
- 片上副課長 いいえ。今年度の分も支払わなければいけないということで、ちょっと集めて支払っております。
- 石井委員 それは、やり繰りしたということですか。
- 片上副課長 そうです。
- 石井委員 PTA会に入っている人にも支払われていますか。
- 片上副課長 委員さんに支払われているんですけども、最初は無償でという形でしたが、お支払いさせていただきますという御説明をこちらからさせていただきました。中には、お断りされる方も何人かはおられますが、基本的にはお支払いさせていただきます。
- 石井委員 予算とは別ですが、コミュニティスクール全体の成果とか変化がもし分かれば教えていただけますか
- 片上副課長 今、全校でコミュニティスクール1回目がなされて、可能な限り、指導主事も様子を拝見させていただくんですけども、まだ立ち上がって間もないということもありまして、最初はどうしても校内での要望というか、こういう施設があったらいいといったハード面の話が多いです。具体的に何をしているかについては、情報の集約が不十分なため明確にお答えはできないですが、

そういう形でスタートしています。

坂本部長 もう一つ、コロナの影響で人の出入りを制限している学校もありますので。

石井委員 こうやって予算に明記するのであれば、成果も明示していく必要があるかなど。

坂本部長 はい。

石井委員 あとNo.50幼稚園運営事業は、金額の割合で言うとすごい減ったと思いますが、医療的ケア児の検討会の分は上乘せですよ。それ以外で何かが減ったんですか。

板垣係長 これは、学校教育部の幼稚園運営事業で持っていた光熱水費を、一元管理のため管理部の幼稚園運営事業に移管したので、130万ほど減っております。

篠部委員 幼稚園は、医療的ケア児の受け入れの予定はありますか。

五十嵐教育長 来年度は具体的にはありません。実はお一人、仁川幼稚園で週に1回だけ様子を見に行きたいというお子さんがいて、その方が次年度から来る場合はその対応が必要だったんですが、今回は週1なので、親御さんが見てくれるということで必要はないです。

五十嵐教育長 他に御質問ありませんか。松浦委員。

松浦委員 No.39部活動推進事業ですが、この一番上に部活動外部指導者活用事業講師謝礼というのがあって、下から二番目に部活動地域移行謝礼等というのがあるんですけど、これはどういう中身ですか。

片上副課長 まず一番上の部活動外部指導者活用事業講師謝礼というのは、今、本市で62名おられる技術指導がメインの外部指導者の方にお支払いする謝礼の金額となっております。下から二番目の地域移行謝礼は、いわゆる部活動の地域移行にあたる検討委員会を立ち上げる際に委員報酬としてお支払いする予定の金額でございます。

松浦委員 はい。

石井委員 やれるのは、まだ検討委員会ぐらいですか。

片上副課長 説明が漏れておりました。来年度は地域移行のモデル部として2部活を検討しております。指導者を1つの部活に2名置くため、4名分の謝金の予算

を採らせていただいています。

石井委員 モデル部というのは、部ごとに市内から集めるということですか。

坂本部長 市内で集めるのではなくて、人が少なくて廃部になるサッカー部の子どもたちを地域のサッカークラブさんが土日に集め指導してくださるので、他の学校の子どもたちも来る可能性もあります。

石井委員 具体的にはどこの学校ですか。

五十嵐教育長 具体的には、コニーリョというサッカークラブが、放課後に中山台小学校の子どもたちを集めてやってくれることになっています。中山台小学校の子はみんな中山五月台中学に行きますが、中山五月台中学校は生徒数が少なく、サッカー部がなくなりましたので、卒業した子を引き続きこのコニーリョで面倒を見ようということです。要するに地域移行で縦の繋がりというのを、まずひとつ考えています。もう一つのモデル部もサッカーでしたか。

坂本部長 宝塚第一中学校もサッカー部です。

五十嵐教育長 それも小学校との繋がりですね。

坂本部長 はい。

石井委員 宝塚第一中学校はサッカー部員が少ないんですか。

坂本部長 宝塚第一中学校は少ないです。今の部員は3年生だけで、来年度からは募集を停止します。

五十嵐教育長 中学校自体の部員の数が少ないければ、一つの学校では大会に参加できないので、どこかと一緒になってということで今度は横の層の連携もやっていかなければならないかもしれませんね。

坂本部長 中山五月台中学校の方では、山手台中学校の子どもたちもこれから一緒にやっていく可能性があるということです。

石井委員 子どもたちの為に外部へ移行ということだと、教員の負担減には全然ならないということですか。

五十嵐教育長 いや、指導者は地域の方なので。

石井委員 言い方はあれですけど、もともと放っておいたらなくなる部活を継続させるということですよ。

片上副課長 そうですね。人数が少なくなってなくなるのと、あと顧問、指導者の成り

手不足が大きな要因になります。

石井委員 成り手がいないからなくなるんですか。

片上副課長 基本的には、子どもの数が少なくなっているのが一番大きな原因です。プラス顧問もいない。部活動が無くなる要因としては、この二つが大きな原因です。

石井委員 部員がいなくなるから外でやる。部活がなくなれば元々教員の負担は減っていたということですか。

五十嵐教育長 はい。ただ、子どもにとってはやっぱり活動できる場があった方が良いでしょう、その保障というか、その場も作ってあげないといけない。一方、先生方に過度な負担をかけられないので、今その両方が上手くいくような方法をこの地域移行の中で探ろうとしているところなので、まずは、やれそうなその二つの部から始めてみようということです。そこで検証しながら、一遍に平日も地域に任せたら、それは先生の負担がないじゃないかとなるかもしれないし、それはやっぱり難しいとなったらどうしたら良いのか。廃部にして先生方を部活動から手を引いていただくような中で、また別の地域の活動を作っていくとか、そこはまだ手探りなので、とりあえず来年度、2つの部活動でそれを検証していこうということです。

石井委員 じゃあ、宝塚第一中学と中山五月台中学の平日は学校内でやる予定ですか。

五十嵐教育長 今のところはその予定です。ただし、毎日やるかはまだ分かりません。

石井委員 そうですよ。人数的にも。

坂本部長 中山五月台中学校は、もう平日ないですよ。

片上副課長 そもそもサッカー部の活動自体がないです。

石井委員 そもそも負担がないということですね。分かりました。

坂本部長 宝塚第一中学校は、まだ3年生がいます。

五十嵐教育長 だから、中山五月台中学の場合は、一気に土日の部活動だけになってしまうということですよ。平日はもう部が成立しないから、そもそもない。だけど、土曜日はこういう枠があるから、参加したかったら参加できるよとなるわけですね。

石井委員 なるほど。

五十嵐教育長 他に予算について御質問ありますか。

番庄部長 先ほど教育長から御質問がありました、15ページのNo.80スポーツ施設管理運営事業で、この差額について内訳を説明させていただきます。主に工事費で、大きいものから順番にご紹介いたします。売布北グラウンドの野球場がございまして、この土壌の入替えと改修工事で6700万。それからスポーツセンター野球場も同じく土壌改良が必要になっています。これが5700万。それからスポーツセンターの多目的グラウンドの土壌改良が4900万。これは、なかなか予算もなくって放置されていた状態で、球技や競技をするとすると、土壌であるとか水はけの問題があり、ちょっとでも良くしたいということで、今回この辺りを思い切った予算でまずはしっかり整備していこうということです。土壌改良だけでも1億7千万近くということになっている状況です、それ以外にも、高司グラウンドのバックネットのラバーを替えるので600万程度。それからネットフェンス等の修繕も含めて大きな金額になってきているという状況です。ただ、これからコロナが明けてきて、より多くの方に満足して利用いただきたいという思いがございまして、土壌改良はなかなかできるものではないですが、今までやれなかったことを思い切りやるということです。そういうのが合わさって、前年度比でこれだけの差が出ています。

五十嵐教育長 分かりました。ありがとうございます。

ハーフマラソンですが、開催に向けて今取り組んでいるところです。400万という予算ですが、前に開催していた頃は2000万以上かかっていたんですね。

番庄部長 事業全体でかかる2800万のうち400万を実行委員会に補助金を出すという予算です。それ以外は、参加費や企業の方に協賛金をいただいてなんとか2800万を作りましたが、来年度はこれが全体的に膨らむ恐れがあります。しかし、企業協賛金については、十分頂けるかどうか分からない状況で、いたずらに参加費を上げるわけにもいかない、その辺りのせめぎ合いになっています。以前は、800万ぐらいの補助金があったんですけども、事業の中身をどうしたら良いかも含めて、今の行革の中で400万を補助金

としましようというのが今のスキームです。

五十嵐教育長 開催の方向でということですから、まだ開催が決定したわけではないんですけれども、夏のサマーフェスタはやるという方向でして、市全体で活気のある街にしていこうという方向性の中で出てきている話です。ただ、具体的に実施するのは教育委員会ではなかなか厳しい状況でして、最終的には医師会の先生方のご協力を得なくてはいけないといった問題があるんですが、また教育委員のみなさんからもこんなやり方をしたらちょっと面白いのではないとか、協賛金が足りないならこういうふうにしたら何とかなるんじゃないのかとか、また御意見頂ければありがたいので、ちょっと頭の片隅にーフマラソンを置いておいていただけたらと思います。篠部委員。

篠部委員 意見ですが、救護所の数を減らして、医師の出務人数を減らせばいいと思います。忙しいところは決まっています、最後と第一救護所は戻ってくるころだから忙しいですが、一か所二か所減らしても遠いところはあまりないと思います。だから出た先生に動いてもらったらいいと思います。

番庄部長 先生のご負担にならないようにという思いもあったんですけども、分かりました。ありがとうございます。

篠部委員 基本がほとんど何もないので。前は、消防隊の人がAED背負って一緒に走っていましたよね。あの人たちがもっと動いて、そこに医師が呼ばれて行くという形でも良いのではないのでしょうか。

番庄部長 分かりました。ありがとうございます。

石井委員 AED背負って追いかけるんですか。

篠部委員 はい。自転車乗ったりして。

番庄部長 心停止して倒れた人がいたので、走ってAEDを持ってきて、結果的には消防の方が救命救急してくださいました。

番庄部長 確かに、よりたくさんの特点を設ければ安全度は上がるんですけども、そこまで有効かという事だと思いますので、僕たちも悩ましいところがあります。

篠部委員 僕らも、毎年出務の先生を選ぶのがとても大変で。

番庄部長 何年かぶりの開催ということでもありますので、過去の反省も活かしながら

らと思っています。ありがとうございます。

篠部委員 今までの事例で動いたところを残して、動いていないところはちょっと削るといいと思います。

番庄部長 分かりました。ありがとうございます。

五十嵐教育長 ありがとうございます。予算関係で質問はだいぶ出ましたが、他に御意見もあればお伺いいたします。石井委員。

石井委員 No.56と58の研究課のICTとネット環境の予算ですけれども、こちら両方1600万と1000万減なんですけど、前の校園長会で学校内のネット環境に不満があるという意見が出ていたので、ここが減っているというのは何か理由があるのかなと思って。

伴室長 リース契約している分があるんですけども、リース契約が終わって半年延長の部分で減額になっている分だと思います。ネットワークに関しては、おっしゃられたように、かなり増強していかないといけない状況ですけども、まだそこまでいけていない。既存の分の中でリース契約する部分の中で下がっている部分という認識をしています。

石井委員 要はネット環境を増強するのに予算として使えなかったということですか。

伴室長 そういう予算採りではないです。

石井委員 採れていないということですか。

伴室長 新規では採れていないですし、今、5年でリース契約しているものを月々支払いしていくんですけども、更新年度に半年間延長しまして、その分費用を落としてしている時もありますので、その分が落ちているだけになります。

五十嵐教育長 私が聞いている範囲では、ネットワーク環境の整備は必要なので、全体を整備するのはできないですけども、大規模校の場合には一定必要だろうということで、そこへの強化はやるとは聞いています。恐らくこの減額は、今言われたように、何か契約関係で落ちているだけであって、何かができないから下がっているということではないと思います。分かったらちゃんとお知らせします。

石井委員 もし、減らさずにネットワーク環境に使えたなら、それももったいないと

思っています。またご確認願います。

五十嵐教育長

はい。言っておきます。

石井委員

最後、No.7 2宝塚自然の家管理運営事業は、令和4年度からの話ではあると思いますが、工事費に2千万かけるというところで、今は難しいとは思いますが、令和4年度の利用者数とか満足度というのは、統計が取れていますか。

番庄部長

まず、自然の家再開にあたって、今年度は1万人という目標を立てて、1万人は達成しました。12月から2月までは休館するというので、ちょっと心配したんですけども、この間も、とんどをやったりとか凧揚げ大会やったりとか、それから指定管理者の方が工夫をされて、自分たちでやるのではなくて、市民の方に集まってもらって、子どもと一緒に薪割りをするとか、山の整備を行い、それをカウントに入れています。また、ぜんざいを振舞ったりとか、かまどご飯を食べてもらったり、そういったものも含めて、なんとか目標1万人は達成しました。来年度は、それ以上を狙いたいということで、キーコンテンツがやはりアスレチックです。子どもたちはとてもアスレチックが好きですので、来年はもうちょっとアスレチックの道具を増やしたいなと思っています。

石井委員

あそこに自由に入れるような工事をするということですか。

水野課長

工事費の2千万の内訳を申しますと、宿泊をやっていたときの高圧受電設備にもう限界がきていて、それを更新するにあたって、今は規模を縮小していますので、高圧から低圧に切り替える工事に1200万。工事費とは別で、全体経費の中に含まれているPCBの処理の分も別に100万等がかかっております。それ以外にアスレチックコースの中にまたひとつ遊具を増やす予算として約400万。それから、管理棟のトイレに車いすの方も行けるよう導線として一部アスファルトの舗装工事を行います。それが350万ほどかかる。工事の内容はそういう内容で、半分以上がその電圧のいわゆる低圧化の工事費に費用がかかるということです。恐らく、高圧受電設備を更新するとそれ以上の費用がかかりますので、低圧に踏み切ろうかということで判断しております。

- 五十嵐教育長 何月まで何人とか、利用人数は今出ていますか。
- 水野課長 今手元に資料がないですけども、この間の12月にイベントを少しやってくれているので、そこで1万人いらっしゃいますので、目標は達成しました。
- 番庄部長 学校の見学にも利用いただいて、自然の家内の旧東家という歴史民俗資料館を御覧いただいたりしています。また、保育所の方とか放課後児童クラブの子どもたちも来ているようです。そのように、だんだん広がっているなどという感じです。
- 篠部委員 需要があるかは分からないですけど、先ほど旧山田家を20歳のつどいの撮影に使うという話があったんですけども、そこも撮影に使えるように何かアイデアを出してみてもどうでしょうか。こんな写真が撮れるというのを聞きつけたらみんな来ると思います。
- 番庄部長 分かりました。
- 五十嵐教育長 旧東家は、屋根がきれいになりましたもんね。
- 番庄部長 先日雪が降りまして、僕は写真を撮りに行ったんですけども、やっぱりきれいですね。きちっと直っています。2月14日に西谷小学校の子どもたちを招待して内覧会をしようかなと思っています。
- 五十嵐教育長 旧東家の中の展示とかもリニューアルするんですか。
- 番庄部長 ものは変わらないです。
- 五十嵐教育長 前に行ったときに中が暗いので、電気をつけて欲しいみたいな話がありましたけど。
- 石井委員 あそこ暗いですよね。
- 番庄部長 暗いですね。
- 水野課長 普段は電気を切っております。今年度に配線の工事を考えていたんですけども、それ以外の床の工事などが進んでいるので、また次年度以降で配線の工事をして、電球も今は昔の電球を使っているんですけども、どうしても発熱があるので、それをLEDの電球に替えたいという思いはあります。配線そのものも結構年数が来ているので、できたら電球の配線の方も入れ替えたいと思います。当初思っていたんですけども、それ以外に床下が危ないのもありまして、そちらを急遽工事しました。

番庄部長 昔はあそこに子どもたちを上げて遊ばしていたんですけども、今は床が抜けてしまうんです。床が悪くなっていて、今は屋根だけでなく、床下修繕もしています。これも昔ながらの木を使う工法で、鉄を使いません。昔の人はこういう知恵があったんだよというのを見えるようにしています。どちらかという今はそちらの方についていまして、電灯は、常設の電気は難しいと思いますので、LEDのちょっとしたスポットライトを用意するといった感じになるかと思います。

五十嵐教育長 委員の皆さんにも見に行っていていただいて、やはり旧東家の活用は私たちの思いですので、整備の充実をお願いいたします。

松浦委員 でも、あんまり明るくなったらそれらしくなくなるので、少し暗めでお願いします。

水野課長 昔の電球なので、熱をかなり持つのが逆に怖いんです。昔のハロゲンのタイプなので、照度はそんなに変わらないと思うんですけども。

番庄部長 おっしゃるとおり、江戸時代は電球なんてなかったもので、窓を開けたりすると上手に採光をとれるんです。暗くなったらどうしたかという、みんな寝ていたんですよ。そういう昔の暮らしも伝えながら、暗さもまた楽しさだと思っただくと勝手に思っています。

松浦委員 あの暗さが良いんですね。

番庄部長 でも、展示物はちゃんと見えるようにしないといけないというのはありますので。

五十嵐教育長 気候が良くなったら、またもう一度教育委員の皆さんに行っていていただいて、何かアイデアを出していただいたらと思います。

石井委員 アスレチックの工事が終わればちょうどいいのでは。まだ工事日程は決まっていないですか。

番庄部長 まだこれからです。

水野課長 来年度の工事になります。

五十嵐教育長 ぜひもう一回、教育委員のみなさんには自然の家の視察に行ってくださいましょう。

番庄部長 ありがとうございます。

- 五十嵐教育長 他に御意見、御質問ございませんか。
- 金額的には、最初に御説明があったように前年度よりも上がってはいるんですけども、昨今の事情を考えますと、決して何か良くなるというのには、かなり厳しく抑えながら事業を展開していかなければいけない状況です。
- 五十嵐教育長 それでは、他に御意見御質問ないでしょうか。
- 委員 (なし)
- 五十嵐教育長 それでは、議案第1号 令和5年度教育委員会所管一般会計補正予算(案)の提出について意見を申し出ることについては、原案通り可決といたします。
- 本日予定の案件は以上ですけども、他に何か御報告いただくようなことはありますか。
- 岡本課長 次回開催予定の教育委員会までに、教育長の専決処分により処理することが見込まれる案件につきまして、事務局より御説明申し上げます。
- 施設課所管の案件ですけども、長尾台小学校の西側の法面整備工事ですが、現在12月21日から入札公告を行っておりまして、本日の13時過ぎから開札の予定ですけども、予定価格が1億5千万円を超える案件で、市議会の議決が必要になる工事案件になります。本来でしたら、市議会に提出する前に教育委員の皆さまに御審議いただいて、議決いただくものですけども、時間的暇がありませんので、教育長の専決処分により処理をさせていただきます。以上でございます。
- 五十嵐教育長 そこはよろしいでしょうか。
- 委員 (承認)
- 五十嵐教育長 では、そうさせていただきます。
- それでは、本日の教育委員会を閉会いたします。
- どうもありがとうございました。

閉会 午後 3時00分